



翔べ！松中生

令和5年度 第3号 5月31日発行

「宿泊行事で学ぶ」

校長 齋藤 明

夏のような日差しと降雨が繰り返えし、木々の鮮やかな緑が映える季節となりました。東海地方に続き、関東地方ももうすぐ梅雨入りとなりそうです。

2年生は、5月25日から2泊3日で福島県南会津町にて宿泊体験学習を実施しました。各クラスの男女ごとに、ペンションでの分泊です。2年生にとっては、1月のスキー教室に続き、2回目の南会津町への訪問となりました。ペンションのオーナーさんの中には、スキー教室でのインストラクターさんもいて、久しぶりの再会となりました。

この宿泊行事の「ねらい」は、計画された3日間の行程を自分たちで遂行する事と、ペンションごとのオーナーさんの指示をよく聞き、仲間との共同生活から信頼と友情を育むことです。また、3日間の醍醐味として、さまざまな経験を通して、豊かな人間性を育む機会とすることです。

南会津に到着して、最初に感じたのは、新緑の中ならではの木々の匂いでした。澄んだ空気をいっぱい吸ったとき3日間がスタートした気持ちになりました。

1日目は、自然体験でした。林業体験では、伐倒（ばっとう）をしたり、自然工作では、陶芸や竹箸作り、魚のつかみ取りなど、日常ではできない様々な体験を行うことができました。

初めての体験に目を輝かせて取り組む姿がとても嬉しそうでした。

魚のつかみ取りの後、炭で焼いた塩焼きのイワナを頭からバリバリと頬張ったあの味はきっと一生忘れられないでしょう。

夕食後の「息吹」の鑑賞では、小学生から高校生までのメンバーが、本気の演技を見せてくれ、改めて「一生懸命はかっこいい」と感じるようになりました。メンバーの中には、学校が終わった後に80kmも離れたところから私たちのために集まってくれた生徒もいて、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

2日目は、尾瀬のハイキングでした。天気にも恵まれ、班ごとに尾瀬沼までの自然散策を行いました。途中には、桜や水芭蕉の花などを観察し、この大自然を次の世代へ残すことの大切さを学びました。

また、1日を通して案内のガイドさんとの貴重なふれあいの時間を過ごすことができました。そして、戻ってきた時、達成感を感じることができました。

3日目は、「息吹」のメンバーから組踊を習いました。12名の講師の先生から6グループに分かれて練習しました。中には、越谷市から来てくれた中学生もいました。約2時間かけて一生懸命覚えた成果として、最後にクラスごとに一生懸命に発表ができました。その後、講師の先生方と一緒に昼食をいただき、お話しできたことも思い出の一つです。息吹のコンセプトである、失敗はOK、経験から学ぶ、そして「過去は変えられる」という話を聞いてとても感銘を受けました。

私たちも、息吹から学んだように、何事も体験（チャレンジ）を通じて成長していきましょう。失敗を恐れずに、日々のチャンスを活かしていきましょう！

